

収量面ばかりでなく、品質面にお



いてもかなり影響が出るものと予想されますので、その対策を講じたいと考えています。

秋田地方気象台発表の七月までの三カ月予報によると、降水量、気温とも平年並に推移する確率が高いとのことですが、気温の変動の大きい日があるとの予測もあります。このため、今後とも気象情報に意を配しながら関係機関と連携を密にして指導の徹底に努めたいと思います。

厳しい雇用情勢に一大朗報 企業立地

県営大館第二工業団地への企業立地については、五月二十八日に秋田県と同時に発表させていただきましたが、かねてより交渉を進めてきました菱山製薬株式会社が、このたび県営大館第二工業団地に進出することが決定しました。

同社は、昭和二十五年七月設立の医薬品総合メーカーで、資本金は六十億一千九百二十万円、従業員数は七百二十九人です。大阪府中央区に本社を置き、関西圏に三工場を有しています。また、昭和六十三年にはニプロ株式会社、当時の株式会社ニッショーと資本提携をしています。

同社の進出計画では、大館工場

として十九万五千四百六十七平方メートルの用地を取得、七月に工場建設に着手し、平成十四年四月一日の操業開始を予定しています。投下固定資本は約百三十四億円、従業員数は操業時百人、平成十七年三月には二百三十人、将来的には五百人体制とする大規模な計画です。

地域経済が低迷し、厳しい雇用情勢が続く本市にとって、まさに一大朗報です。秋田県のご尽力に対し深く感謝いたします。

今後とも市議会並びに市民の皆さんからのご理解とご協力をいただきながら、積極的な立地活動を展開していきます。

一層の安全性を確保しました 大館新橋

向上するものと期待しています。

国道七号「大館新橋」は、国土交通省能代工事事務所が平成八年から架け替え工事を施工していましたが、このたび工事が完了し幅員十六メートルの橋として、今年十四日に開通の運びとなりました。この橋の架け替えは、阪神淡路大震災を教訓に耐震性を考慮し、より一層の安全性を確保したものとなっています。



その他の報告

- 医療事故及び電算処理業務のミスについて
- あきた北空港の利用状況について
- 大館広域圏ごみ処理施設の整備計画について
- 環境マネジメントシステムの取り組み状況について
- 市制施行五十周年記念式典について
- 平成十二年度の各会計決算見込みについて
- 公共事業の発注計画等について
- 介護保険事業の施行状況について
- 秋田県種苗交換会大館市協賛会の設立について
- 大館市コンポストセンターの稼働状況について
- 長走風穴館「自然美術館」の開催について
- 山田記念ロードレース大会について
- 国民体育大会準備室の設置について